



# 旬の風 186号 (2017年10月)

旬との出会いは十数年前、勤めていた会社の近くに旬があり、たまたま通りかかりお弁当ののぼりに誘われて店に入りお惣菜を購入。値段も手頃でとてもおいしく、何度か立ち寄っては買っていました。

早期退職し、母の介護に専念する中で、宅配の食材購入を考えていた時に新聞の折り込みチラシで生活クラブを知り、もしかしたらあの店の食材ではと思い早速連絡を取り利用することに…しばらくして家の近くにある福祉施設の昼食を旬のメンバーが提供していることを知り、還暦を過ぎていたこともあり少し不安もありましたがお仲間に入れていただき現在に至っています。慣れない調子の仕事もメンバーに助けられながら少しずつですが上達しているかも…とひとりで勝手に思い込んでいます。

食の安心と安全はもちろんですが、季節の食材を多く取り入れ、食べる時間に合わせた味付けや食事形態の工夫など、どこまでも食べられる方達に寄り添った食事づくりは、気の抜けない真剣勝負との思いと自分にできる仕事がある幸せに感謝しながら、素敵なメンバーとのつながりを大切に、体の続く限り楽しく取り組んでいきたいと願う毎日です。  
縁とは本当に不思議なものですネ。 (西野)

## メニュー担当者からの一言

早いもので、今年ももう10月のメニュー作りです。  
読書の秋、スポーツの秋…やはり食欲の秋でしょうか…  
野菜や果物も旬のものがたくさんあります。  
子供のころ、芋堀りや栗拾い、果物狩りに行った時、  
楽しくてついついたくさん収穫してしまい  
帰りが大変だったことを思い出します。  
今月はさつま芋やれんこん等の根菜類やきのこを  
使ったメニューを多めに取り入れてみました。  
おいしい野菜をよりおいしくお届けしたいと思っています。  
“旬”のお弁当でも秋を感じていただけたら…と思います。